

愛媛甘とろ豚（LWY種）と他品種間における胸最長筋の組織学的検査と肉質の関連性

畜産研究センター

熊岡悟史、宇都宮昌亀

骨格筋を構成する筋線維は 型および 型（ a、 b ）に分類される。豚では品種により筋線維割合が異なる。そこで、愛媛甘とろ豚（LWY）、中ヨークシャー種（Y）、LWD について、胸最長筋を用いた組織学的検査および理化学的検査を実施し、LWY の筋線維割合や肉質について調査した。

筋線維割合は LWY が 型 11.0、 a 4.8、 b 84.2、 Y が 型 11.6、 a 4.0、 b 84.4、 LWD が 型 14.4、 a 8.0、 b 77.6 であった。筋束の大きさは、LWY 638、Y 587、LWD 818 μm と LWD が他に比べ太かった（ $P < 0.05$ ）。肉色は Y が他に比べ a 値（赤味）と b 値（黄味）が高かった（ $P < 0.05$ ）。また、筋肉内脂肪含量は LWY 3.8、Y 5.4、LWD 3.4% と Y が高い傾向にあった。筋線維割合など組織学的に LWY は Y 種に近く遺伝的には Y 種の形質を受け継いでいるといえた。LWY の組織学的検査と肉質に有意な相関はなく、双方に関連性はないと考えられた。

畜種：豚、分類：畜産技術、キーワード：愛媛甘とろ豚、LWD 種、中ヨークシャー、筋線維、肉質